

PRESS RELEASE

令和4年（2022年）12月8日

山形大学ダイバーシティシンポジウム 「山形からはばたく女性科学者～パイオニアから現代、そして未来～」 を開催します

【本件のポイント】

- 加藤セチ博士顕彰シンポジウムとして開催。
- シンポジウムは『加藤セチの生涯と功績』と題した有識者による『基調講演』と高校生、大学院生、小学校教諭、大学教員による『パネルディスカッション』の2部構成。
- 山形大学ダイバーシティ推進室主催、大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」共催、三川町、山形県教育委員会、山形新聞社、山形大学地域教育文化学部同窓会後援により開催。



【概要】

山形県出身で本学地域教育文化学部の前身女子師範学校の卒業生である女性科学者、加藤セチ博士の活躍の歴史を知り、過去から現在に至るロールモデルから学ぶことによって、次世代のキャリアパスの意識を涵養すると同時に、性別に関係なく理工系分野で活躍する若年層を支援する社会全体の意識を醸成しつつ、女性研究者の裾野拡大にもつなげる目的として、山形大学ダイバーシティシンポジウム「山形からはばたく女性科学者～パイオニアから現代、そして未来～」を開催します。

対象は、教職員、学生、一般市民の方など、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。多数のご参加をお待ちしています。

【シンポジウム開催事項】

日時：12月26日（月）15:00～16:40

会場：（対面）山形大学小白川キャンパス人文社会学部1号館3階301教室
（オンライン）Zoomウェビナー

基調講演：講師：宮野悦夫氏（山形県産業科学館館長）
『加藤セチの生涯と功績』

パネルディスカッション：

パネリスト：山形県立西高等学校生徒、本学大学院生（農学研究科）、小学校教諭（本学大学院教育学研究科修了）、本学教員（理学部主担当）、

対象：教職員、学生、一般市民の方など、関心のある方

参加費：無料

申込：別添チラシの申込みフォームよりお申し込みください。（申込締切は12月19日（月））

【加藤セチ博士とは】

加藤セチ博士は、明治26年現三川町に生まれ、大正3年山形女子師範学校（現山形大学地域教育文化学部）卒業後、狩川尋常高等小学校に勤務。その後、東京女子高等師範学校（現お茶の水女子大学）に入学し、卒業後に北海道帝国大学農学科に学ぶ。大正11年には特殊法人理化学研究所（財団法人理化学研究所）の初めての女性研究員として赴任し、理学博士の学位を取得。理学博士としては女性として3人目であり、女性研究者の先駆けである。昭和43年には三川町名誉町民第一号の称号が贈られている。

お問い合わせ

ダイバーシティ推進室

TEL：023-628-4937,4939 Fax:023-628-4185

メール：yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学 ダイバーシティシンポジウム

(加藤セチ博士顕彰シンポジウム)

山形からはばたく女性科学者 ～パイオニアから現在、そして未来へ～

基調講演では、山形出身の女性科学者のパイオニア「加藤セチ」の生涯と功績について論説して頂きます。パネルディスカッションでは、「職業選択、やりがい・将来の夢、若い世代へのメッセージ」等について、現在から未来に向けて、世代を超えて語り合います。

基調講演

加藤セチの生涯と功績



加藤セチ『女博士列伝』より

講師

山形県産業科学館 館長

宮野 悦夫 氏

パネルディスカッション

渡邊 史子 氏

山形市立滝山小学校
教諭

河合 寿子 氏

山形大学
学術研究院准教授
(理学部主担当)

長谷川 水輝さん

山形大学大学院
農学研究科博士前期課程
2年

近藤 果音さん

山形県立
山形西高等学校
2年

コーディネーター

ダイバーシティ担当副学長 大森 桂

令和4年12月26日(月)15:00～16:40

山形大学小白川キャンパスにて

対面・オンライン併用開催

お申込みはQRコードもしくは下記URLからどうぞ。

<https://forms.office.com/r/hzKiJLhLmh>

申込締切：令和4年12月19日(月)

後援/ 三川町、山形県教育委員会、山形新聞社、山形大学地域教育文化学部同窓会

参加費
無料!



詳細は裏面をご覧ください。

どんな シンポジウム なの？

スケジュール

15:00～ 開会

基調講演（質疑応答含む） 40分

15:45～ パネルディスカッション 50分

閉会

加藤 セチの略歴

明治26年現三川町に生まれ、大正3年山形女子師範学校（現山形大学地域教育文化学部）卒業後、狩川尋常高等小学校に勤務。その後、東京女子高等師範学校（現お茶の水女子大学）に入学し、卒業後に北海道帝国大学農学科に学ぶ。大正11年には特殊法人理化学研究所（財団法人理化学研究所）の初めての女性研究員として赴任し、理学博士の学位を取得。理学博士としては女性として3人目であり、女性研究者の先駆けである。昭和43年には三川町名誉町民第一号の称号が贈られている。



宮野 悦夫氏

山形県産業科学館・館長
元長井工業高校校長。2017年から現職。1956年鶴岡市生まれ。
関東学院大学にて工学修士号取得。
専門は建築学、近代建築・都市計画史、産業技術史。
日本工業教育経営研究会山形支部会長として山形県の工業教育を支援。
インターネット上で編集術を学ぶイシス編集学校・師範代として編集工学の実践につとめる。
日本建築学会、日本産業技術史学会会員。



渡邊 史子氏

庄内生まれ、山形育ち。山形大学大学院（教育学研究科教科教育専攻）修了。
山形市立滝山小学校教諭、山形市理科センター事務局長。
4年生の担任をしています。子どもが授業を通して自然を観察したり調べたりするおもしろさに触れ、理科を学ぶことが好きな子どもを育てたいと考えています。



河合 寿子氏

山形生まれ、山形育ち。
夏はミンミンゼミの声を聞きながら、冬は雪の中をサクサク歩きながら大きくなった。高校を卒業後、神戸へ。
そして、東京、大阪、愛知と渡り歩き、2018年にこの山形に帰る。
現在は、8歳と3歳の子どものと過ごすという人生のうちで今しかない宝物のような時間を大事にしながら、光合成の研究や教育活動を行っている。



長谷川 水輝さん

秋田県出身。
山形大学農学部で食農環境社会学を専攻し大学院へ進学。大学院では流域保全学を研究分野とし、日本各地の森林などを研究フィールドにして研究活動をしている。
現在は、ドイツのハノーバー大学修士課程に留学中で、スギ林のバイオマス量の測定に関する研究を進めている。海外で勉学に励みながら貴重な経験をしています。



近藤 果音さん

山形県立山形西高等学校2学年理系クラス在籍中。テニス部に所属しながら学校生活を楽しんでいる。研究者志望の高校生。
近藤さんからは、現在の高校生活と将来等についてお話してもらいます。その他、職業選択など将来について考えるにあたり、「大学院ってどんなところ？」「研究者になろうと思ったきっかけは？」等々、高校生の視点から他のパネリストへ質問が飛ぶかも？！

お問い合わせ

山形大学

ダイバーシティ推進室

TEL: 023-628-4937

※本シンポジウムは無料です。参加希望の方は、令和4年12月19日(月)までに、表面にあるQRコードよりお申込みください。オンラインでの参加者には、開催日前日までに参加URLをメールにてお送りいたします。※対面参加の方は、マスクの着用をお願いいたします。※山形大学にお越しいただく際には、公共交通機関や近隣の有料駐車場などのご利用をお願いいたします。

会場: (対面)山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部1号館3階301教室
(オンライン)ZOOM ウェビナー

※今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法がオンラインのみに変更になる場合があります。

